



横浜を良くするフォーラム

テーマ：2030年の横浜のために、
社会的責任と協働をどう加速するか？

5 / 22 (火)

18:30開場 19:00開会
横浜市開港記念会館 6号室

横浜市中区本町1-6 電話045-201-0708
みなとみらい線日本大通駅下車1番出口すぐ

入場無料 (事前登録制)

参加申込用紙に必要事項を記入の上、
下記までFAXしてください。

参加申込FAX

045-489-6270

主催：NPO法人横浜スタンダード推進協議会
お問い合わせ：090-1567-5277 担当：長谷川
info@uramenkoukoku.com

<講師プロフィール>



川北秀人(かわきたひでと) 氏

IHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者
隔月刊誌 [NPOマネジメント] 編集発行人 (2011年 4月まで)

1964年大阪生まれ。8年に京都大学卒業後、(株)リクルーに入社。
国際採用 広報 営業支援などを担当し、91年に退職。
その後、国際青年交流 NGOの代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、
94年に IHOE設立。大小さまざまな NPOのマネジメント支援を毎年100件以上、
社会責任志向の企業のCSRマネジメントを毎年10社以上支援するとともに、
NPOと行政との協働の基盤づくりも支援している。

(般社) ジャパン オンパク 理事 (2010年より)
(財) 日本自然保護協会 評議員 (02年より)
(般財) ダイバーシティ研究所 (DECO) 評議員 (10年より)
(特) 自然体験活動推進協議会 (CONE) 監事 (05年より)
(特) J-CAPTA (CNAC) 監事 (00年より)

東日本大震災によりこの1年はこれまで以上に
様々な人が様々な事を考え行動してきた年でした。日
本人全員が被災地の支援を通じ立場を超えて、「心
からの助け合い」「絆」「コミュニティー」「生きるこ
と」などの本質について深く考えた1年でした。

震災の前から、「社会のあり方」、「持続可能で
平和な社会の実現」などについて数々の話し合いが
各地で行われてきましたが、震災を経験した私たち
だからこそ、今だからこそ、もう一度、政治、行政、企業、
NPO団体、市民の立場を超えて、私たち一人ひとりが
出来ることを見つめ考えてみたいと思います。

今回は、講師にIHOE[人と組織と地球のための
国際研究所]の川北先生をお招きし、これからの協働
の方向と全ての団体の社会的責任についてご講演頂
きます。私たち一人ひとりが当事者意識を持ってこれ
からの社会を共に創るにあたり、多くのヒントを頂きます。
みなさまの参加を心からお待ちしております。

2030年の横浜のために、 社会的責任と協働をどう加速するか？

参加申込用紙

ふりがな	
お名前	
メールアドレス	@
所属 (団体名・企業名)	
このフォーラムをどこでお知りになりましたか？ 知人からの紹介 ・ ホームページ ・ 当チラシ その他 ()	
懇親会	フォーラム終了後の懇親会に参加 する ・ しない
※ 当日フォーラム受 付にて地図をお渡し いたします。	場所：ギリシャ料理&バー オリμπピア (フォーラム会場から徒歩3分) 時間：21:00～ 会費：¥5,000/人

送信先

公開例会事務局

FAX 045-489-6270

info@uramenkoukoku.com

(株) 裏面広告どっとこむ 内)